

NPO 京都コミュニティ放送  
第 95 回 番組審議会 議事録

開催日時：2015 年 10 月 20 日（火）10：00～11：30

会 場：烏丸ビル 2F Flag 三条

委員総数：7 人 出席：7 人

出席委員：山本時子 中村正 福井秀彦 岡本卓也 松浦さと子 竹下 清  
ジェフ・バーグランド

局側委員：町田寿二、松岡千鶴 (順不同敬称略)

ゲスト： 憲法 9 条京都の会 事務局次長 寺内寿さん

審議番組：「けんぼうラジオ京都」(毎月第 2・4 木曜日 7：00～7：09 放送)

「9 条の会」世話人のメッセージだけでなく市民の声を番組で取り上げ市民の皆さんと共に 9 条を守り生かしていくことを考える番組。

2015 年 8 月 27 日放送の番組を試聴して審議に入った。

■ 寺内氏から番組趣旨、経緯などの説明があった

「9 条の会」は「市民の手で憲法 9 条を守り、生かそう」という 1 点で手を繋ぐ市民グループ。2008 年に設立。5 周年を迎え、更に広く 9 条の大切さを知ってもらいたいと思いラジオ番組を始めた。当初は 6 分だったが 9 分に延長した。出演者は学生、ミュージシャン、戦争遺族、狂言師、牧師など幅広い。放送利用料は市民のカンパで賄っている。課題は番組を聴いてもらっている実感が無いこと。しかしカンパをしてくれる人は増えており広がりを感じる。今後は、街頭にも飛び出して、「暮らしと共にある 9 条」を伝えたい。

■ 審議委員の意見、感想

- ・ゲストが複数の場合、誰が話しているか分かるようにすることが大切。今回の放送ではゲスト 3 人の違いがわかり易かった。
- ・司会者の力量によるものだと思う。
- ・女性が話し手として人選されていることは好ましい。
- ・最近男女のバランスを取るよう心がけている。(寺内さん)
- ・今回はゲストが 3 人いたが、話の中心は 1 人に集中した。放送時間が短いので、ゲストの人数は調整したほうが良いのではないか。
- ・ゲストが 1 人の時の放送を聞いたが、とても良かった
- ・ゲストが複数の場合、自己紹介だけで終わらないようテーマを 1 ポイントに絞り紹介は司会者がまとめてすると良いのではないか。
- ・同じゲストでテーマを変えて何回かシリーズで放送するという方法もある。
- ・今回のゲストは学生だがそれぞれの立場で主張し、しっかりしているという印象。
- ・日本国憲法の「人権」の対象は「日本国民」。戦争は相手国の人権を認めない。例えば米国の憲法は「For Men」という表現を使っている。日本国民の人権だけでなく世界的な視野で人権を考えてほしい。又、番組では同じ意見の人の話を聞くだけでなく、多様な意見があった方が良い。議論することが大切だ。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は 2015 年 11 月 1 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は 2015 年 11 月 1 日からホームページで公開した。